

ふるさと通信

HOMETOWN MEMURO

NO.45

もくじ CONTENTS

東京芽室会ふるさと訪問	01・02
「まちなか再生」本格的に開始！	03・04
めむろの「食農教育」	05・06
HOW TO ENJOY MEMURO? めむろの楽しみ方 ~芽室公園編~	07
HOW TO ENJOY MEMURO? めむろの楽しみ方 ~新嵐山スカイパーク編~	08
BBが観光大使に！ 魅力創造課2年目になりました！	09
ふるさと納税	10・11



Tokachi Memuro

東京芽室会ふるさと訪問



東京芽室会の皆さんがふるさと「芽室町」を5月に訪れました。役場庁舎にもお越しになり、手島町長と歓談、庁舎や議場見学。また、会の設立30周年を記念して、2017年（平成29年）5月に芽

室公園植樹した柏の木の成長を観察し、新嵐山や上美生方面の訪問を行いました。昨年の企画がコロナの影響で延期となりました。ほんのひとときですが、ふるさと芽室町を満喫された様子でした。

芽室会員の皆さまもふるさと「芽室町」の訪問をお待ちしております。



01



03

01 役場庁舎見学

令和3年1月に供用を開始した新庁舎の見学。町長が説明。

03 上美生方面訪問

上美生の梶澤農場を見学。畑の広さや農業機械の多さに圧倒されました。



02



04

02 柏の木の観察

会の設立30周年を記念して、2017年（H29）5月に芽室公園に植樹した柏の木の成長観察。

04 嵐山訪問

2020年より本格的に改革をスタートした新嵐山スカイパークの訪問。エリア内は緑と光に包まれています。



インタビュー INTERVIEW!

東京芽室会柴前田会長にきいてみました!

「昨年も会のみんなでのふるさと訪問を予定していたが、かなわなかった。コロナ禍ではあるが、これ以上ふるさとに帰れない日々が続くと気が滅入ってしまうところだった。実現できて嬉しい。柏の木も5年間順調に育っている姿を見ることができ感激している。ここから先は、私たちもこの柏の木に負けないように70代、80代、90代と年を重ねられるようにがんばりたい。柏の木と競争だと思っている。今回来れなかった会員やもう実家が芽室にない会員も、ぜひ、この柏の木を見に来てほしい。ふるさと芽室への思いを改めて感じる事ができる」と晴れやかに語っていただきました。



【まちなか再生】みんなが輝く芽室町になるために。町民の皆さんとの議論を本格的に開始をしました！

これまで中心市街地活性化と表現していたものを「まちなか再生」と表現し、かつての繁栄時代の再生ではなく、幅広い年代や町内外の方々が集まってチャレンジができ、町民が誇りに思える「新しいまちの顔」づくりを目指していくため、「まちなか再生」の取組を開始しました。

5月29日に「まちなか再生」の幕開けとなったフォーラムを開催。このフォーラムは、今後のまちなか再生のポイントを町民の皆さんに共有し、20年後の芽室町のまちなかの姿を考えるものであり、町民の方70名が参加くださいました。

第1部は、ジェイアール東日本企画地域プロデューサーの山本聖様の「地域ブランドとまちづくり」の講演、第2部では、多業種5名のパネリストが、それぞれの立場から「芽室町のまちづくりの未来」を語りあいました。

熱い想いをワクワク語ったフォーラムの様子は、芽室町公式YOUTUBEよりチェックできます！！



～「まちなか再生」の幕開けとなったフォーラム開始までの経緯～



この漫画の続きは芽室町公式ホームページよりチェックできます！！



今後は、町民主体の委員会である「まちなか再生ビジョン検討委員会」のメンバーで、計6回のワークショップを通して「20年後の理想の芽室町」を考え、新たな魅力を創造していきます。作成するのは次の2つで、

①20年後の芽室町のまちなかを描いた「まちなか版ビジョンマップ（未来図）」と、②このビジョンマップを実現するための「芽室町まちなか再生ビジョン（未来図の実現方法）」です。この提言をもとに町は再生ビジョンの実現をします。

また、まちなか再生事業は、魅力創造課、政策推進課、商工労政課の3課で実施し、検討委員会の事務局も担っています。今後も、「まちなか再生」の進捗がありましたら、お知らせさせていただきます！

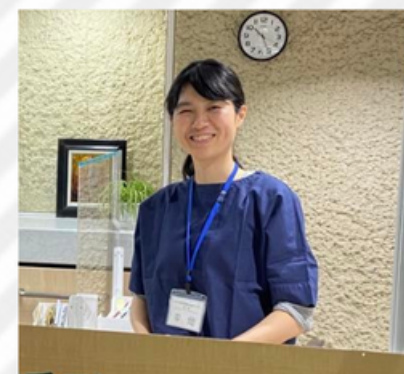
フォーラムのパネリストをして頂いた「めむろのスゴイ人たち」を紹介！！

かわがみ とおる
川上 徹 さん



東京で10年間システムエンジニアとして働いた後、妻の故郷である芽室町に移住。本業の仕出し・焼肉店（すす喜、）・給食事業のほか、「野遊びリーグ Team芽室」のディナープロデューサーや、「ちいさな森のマルシェ」のイベント主催、芽室町がより楽しい町になれるような試みに携わっている。

ひらおか さなえ
平岡 早苗 さん



東京都出身。大学を卒業後、首都圏の企業に就職し、平成26年に家族とともに芽室町へ移住。現在は子育てとともに、NPO法人まちづくりプラットフォームめむろに所属し、町民活動支援センターに勤務。議論を可視化するグラフィック・レコーディングを活用し、楽しい会議づくりを実践するなど、行政と町民の橋渡し役を担っている。

たかの りゅうじ
高野 竜二 さん



芽室町出身の畑作農家。大学卒業後はニュージーランドでハイキングガイドとして勤務し、芽室町にUターン。農業だけでなく、町の食育事業や町内有志によるイベントへの参加、また、町内の美生地区で冬期間限定のポップコーン店をオープンするなど、地域活性にも取り組んでいる。

たかみち はるき
高道 悠生 さん



芽室町在住の高校生。映像クリエイターとしても活躍しており、実家の農場や町内の飲食店、景観などを撮影し、芽室町の魅力が詰まった動画のほか、芽室ジモト大学では、商品開発PR動画も作成。「撮ってもいいわ北海道動画コンテスト」の学生部門では、優秀賞を受賞のほか、「HITA学生映像祭」では、最終選考まで駒を進めた実力者。

きたはら えり
北原 絵莉 さん



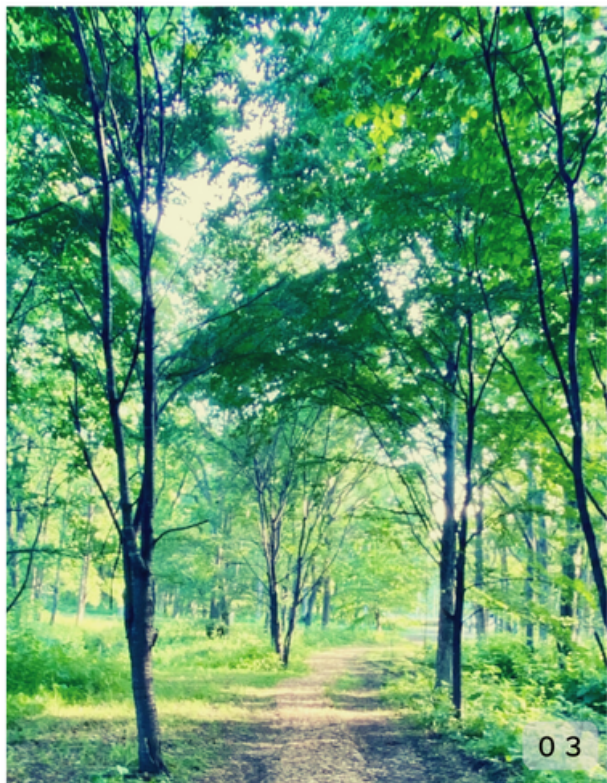
札幌の病院で勤務後、家族で芽室町にUターン。かねてから「年代を問わず、体に優しく安心して使うことができる食品、日用品を購入できる場所が生活圏内にあれば」という思いがあり、昨年3月にオーガニック食品や地球環境への負荷の少ない生活雑貨を扱う「tou/tell」を町内にオープン。人と人が自然と交流できる場所を作りたいという思いもあり、芽室に新たな風を吹き込んでいる。



01



02



03



04



05

4月より始まった新嵐山スカイパークのグリーンシーズン。エリア内はすっかり緑に包まれています。

2020年に、新嵐山改革が本格的にスタートし、2年が経ちました。「この新嵐山スカイパークの素晴らしい環境をゲストの皆さまに楽しんでもらいたい、心地よく過ごして頂きたい」。この想いが「変わり続ける新嵐山」をつくっています。

6月からは、ワンちゃん＆ファミリーキャンプサイトがリニューアル。これから夏に向けてアウトドアに最適な季節になってきましたね。新嵐山スカイパークには、キャンプ道具がなくても手ぶらでキャンプが楽しめるプランや、ドッグラン、わんぱく広場など、老若男女の方が楽しめるさまざまなプランをご用意しております。是非お越しください。

01. 焚き火ラウンジ
夜の楽しみのひとつである焚き火。家族や仲間たちと瞬く炎を囲みながら語り合う至福の時間。

02. フォレストテラス with DOG
カラフルなタープで彩る屋外テラス。そよ風揺れる木の下での贅沢時間。リードフック付の席もあり、ワンちゃんと一緒に食事も。

03. リスの森のお散歩道
四季折々の季節を感じながら、森の中を進むウッドチップの散歩道。野草を観察したり、リスに出会えたり・・・。

04. Mr. テイラー (小型トラクター)
今ではすっかりフィールドの顔となった「Mr. テイラー」。キャンプサイトまでお荷物の運搬のお手伝い。

05. メムビーソフト
芽室産ピーナッツをふんだんに使用したここでしか味わえないソフトクリーム。5月放送のSTV札幌テレビ「ブギウギ専務」でも紹介!

CHECK!! HP →



芽室公園の一角の5本の柏の木。東京芽室会の設立30周年を記念して、2017(平成29)年5月に芽室公園に植樹されました。今年も立派な葉をつけ、少しずつ大きく太くなっていく姿に自然の力強い生命を感じます。樹齢100年を越すまわりの柏の木と比べればまだまだ若いですが、これからもぐんぐんと成長していく様子が楽しみです。芽室町を象徴する柏の木をこれからも守っていかなければな、と想いを新たにしました。

さて、芽室公園にあるたくさんの柏の木について少しだけ・・・。

かつて芽室にはいたるところに柏の大木がそびえていました。開墾によってその多くは消えていきましたが、今も芽室公園には多くの柏の大木が残されているのはなぜでしょうか。そこには、以前ここが牧場だったとき、馬に日陰をつくるために残したこと、そして戦後伐採が計画されたとき、ときの町長大村捷三が芽室の歴史の象徴であるとして切ることは認めなかったことがある。こうして柏の木は、100年以上もの間、まちを見続けてきたそうです。(芽室町百年記念誌(1999年発行)より)



「芽室遺産」とは、2001年より選定されている「北海道遺産」の流れを汲むもので、芽室町の豊かな自然や、町民によって築き上げられてきた文化や産業、生活など様々な価値の中で、芽室町独自の視点で次世代に引き継ぎたい有形・無形の財産の中から「芽室の宝物」として町民により選定されたもの。

ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、「柏の木」も芽室遺産のひとつです。そのほかにも、「新嵐山展望台からの風景」や、「花菖蒲園」、「10線防風林」など・・・。

芽室町観光物産協会HPより「芽室遺産」をチェック





FURUSATO MEMURO

あなたの“想い”をふるさとへ!!



生まれ育った「ふるさと」の力になりたい
自分と関わりの深い地域を応援したい。
そんなあなたの想いがまちづくりへとつながる。
ご寄附いただいた方へ芽室町の特産品をお届けします。
暖かいご支援お待ちしております。



☀️ **B・Bが**
芽室町の観光大使に!

北海道日本ハムファイターズの球団マスコット“B・B”が「めむろ魅力発信特別アドバイザー」に就任しました。
B・Bが行っている地域貢献プロジェクト「The HOME～B・Bみらい大志プロジェクト～」の活動対象自治体に芽室町が抜てきされ、令和5年3月までの1年間、地域の方との交流を通じて芽室町の魅力を発信します!
その第1弾として芽室町の上美生地区で、お店や地域の魅力人を5月に訪問しました。牧場での搾乳体験や「みんなのお店 KAMIBI」での1日店長、アスパラガスの地面食い、芽室坂での全力ダッシュなど、子どもから大人までたくさんの地域の方とふれあい芽室町の魅力をB・Bに体感してもらいました。
当日の様子は芽室町フェイスブック・またはB・Bのブログで紹介していますのでぜひご覧ください。また今後のさらなる芽室町の活動にご注目ください!

魅力創造課2年目になりました!



令和3年4月1日、機構改革により「魅力創造課」が新設され、ふるさと会の担当になりました。今年度で2年目となり課のスタッフが一部異動になりましたのでご紹介!

どんなことをしている課なの!?

What to do?

シティプロモーション、新嵐山改革、郷土愛醸成、町内会活動支援、ふるさと納税そしてふるさと会などの業務を担当します。魅力あふれる芽室町を町内・町外へどんどん発信していきます。



ふるさと納税

「自分を育ててくれた”ふるさと”に自分の意思でいくらかでも納税できる制度があってもよいのではないか」。そんな想いから始まった「ふるさと納税制度」。芽室町では、いただいたご寄附へ感謝の気持ちを込めて特産品をお送りしています。農業王国ならではの旬の農産物や新しい芽室町の味覚をお楽しみください。

RENEWAL!

ふるさと納税ポータルサイトが 少しずつ変わってきました！

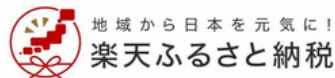
① サイトページがリニューアル！

より美味しさ・商品の特徴が伝わるページ作りをしていくため、サイトページをリニューアル！

② ポータルサイトが増！

昨年まで3つのポータルサイトを活用していたのを、6月からは3サイト増やして6サイトに！

R3まで



ふるさとチョイス
あなたの意思をふるさくに



さとふる

R4から
(3サイト増)



③ メールマガジン・SNSでの発信をスタート！

楽天で、芽室町に寄付したことのある方に対してのメールマガジンの配信と、2日に1回のペースで、インスタグラム・フェイスブックでの発信をスタート！



魅力創造課 0155-62-9736

へお問合せください！

芽室町 ふるさと納税



編集 後記

今年度「ふるさと会」の担当になりました、小川といいます。ふるさと通信を作成しながら、芽室町を再認識できたりと勉強になって感謝です。この通信を通して今の芽室を知って頂けたり、お楽しみ頂けたら大変嬉しいです。もっと分かりやすくもっと芽室町のいろいろなことを皆さまに発信できるよう精進して参ります。この通信は、年3回の発行で、次回は10月ごろ発行予定です！お楽しみに！



芽室町 魅力創造課魅力創造係

TEL:0155-62-9736 / FAX:0155-62-4599